

9条かながわ大集会2018inあつぎ

延べ1,000人参加!



9条改憲発議を許さない!

自民党総裁選、沖縄県知事選真つ最中の9月17日、厚木市文化会館で9条かながわ大集会inあつぎが、「9条改憲発議を許さない」を掲げて開催されました。

午前中の5つの分科会とフィールドワークに350人、午後の全体会に650人、合わせて延べ1000人が参加しました。

多彩な分科会とフィールドワーク

五つの分科会

午前中の分科会1では、映画「いのちの海 辺野古・大浦湾」の上映と志村智子さん（日本自然保護協会）が「生物多様性豊かな海 辺野古・大浦湾の現状」について講演しました。

分科会2では、池住義

憲さん（元立教大学大学院客員専任教授）が「脱原発のドイツに学ぶドイツは国策として原発廃止を決めた」について講演し、分科会3では、高田まさのりさん（障害児支援施設あさひ学苑代表取締役）が「ベーシックインカムとはなんだろうー

増え続ける貧困世帯と憲法25条」について講演しました。

分科会4では、浅賀き

み江さんと中野渡旬さん（ともにリニア新幹線を考える相模原連絡会）が「リニア新幹線建設の問題点を考える」について講演しました。

分科会5では高橋由美

弁護士（横浜合同法律事務所）が「憲法カフェーゆるく楽しく『主権者力』をアップ」を開きました。

フィールドワーク

フィールドワークは、豊雅昭さん（NPO法人雨岳文庫を活用する会理事）の案内で、相州自

由民権運動の中心となった厚木の戒善寺と伊勢原の雨岳文庫を訪ねました。お話をいただいた戒善寺のご住職、「雨岳文庫」山口家当主と家族の皆様のお心温まるおもてなしに深く感謝します。

九条かながわ

No.16

発行：九条かながわの会

2018年9月21日

横浜市神奈川区ニッ谷町2-9 ニッ谷コア202

電話 090-7175-1911 fax 045-894-1052

<http://9kanagawa.la.coocan.jp/>

e-mail article9@nifty.com

盛り上がった全体会

力強い太鼓の演奏

午後は、大ホールで全体会が盛大に開催されました。幕が上がる同時に、地元



相模国飯山白龍太鼓のみなさん

の小学生・中学生など10人による相模国飯山白龍太鼓が力強い演奏を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

ついで、小池康夫実行委員長が開会の挨拶をし、文化人や九条の会による改憲を許さないアピールにより、改憲を許さない運動が広がっていることを紹介しました。



小池康夫実行委員長

おしどりマコ&ケン

次いで、司会の内井みち江さんが登場し、おしどりマコ&ケンさんの紹介をしました。マコ&ケンさんは、東日本



おしどりマコ&ケンさん

大震災時の回想から、お客さんに真実を知らせたいと東京電力の記者会見に参加し、ドイツの学校で、原発事故の話をしている経験までお笑いでも斬りまくりました。とくに、ナチスの台頭を許した反省から、ドイツの中学生への主権者教育の素晴らしさに感動しました。

青井未帆さんのお話

メイン講師の青井未帆さん（学習院大学法科大学院教授）は「安倍9条改憲の狙いー9条に自衛隊を明記する意味を考える」について講演しました。青井さんは、「安倍首相は1ミリも変わらないと言っているが、ウソだ。自律的な

武装集団である自衛隊を明記することは、自衛隊を特別扱いしたいからだ。9条は条文だけでなく、その解釈、それに基づく政策、9条への国民の気持ちからなる9条プロジェクトから構成されている。今ならまだ引き返すことができる。憲法12条にあるように、

今こそ「国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない」と呼びかけました。

最後に、県内各地の九条の会の皆さんが幟旗や横断幕を持って登壇しました。さがみはら九条の会の奥平加代子さん、憲法九条やまとの会の斎



青井未帆さん

藤龍太さん、小田原梅の里九条の会の富田彬道さん、九条の会・ちがさきの宇佐美清子さん、本牧・山手九条の会の井上啓さん、宮前九条の会の田中光雄さん、厚木市九条の会ネットワークの山本幸子さんが決意表明をしました。

あつぎアピールを発表

集会のまとめとして、九条かながわの会の後藤仁敏事務局長が「武力で平和はつくれない。アジアと世界の人びとと手をつないで、憲法9条を世界に輝かせよう」とのあつぎアピールを提案し、大きな拍手で採択されました。

集会の準備をされた皆様、ご参加いただいた方々に、厚くお礼を申し上げます。

